

令和7年度入学者選抜 適性検査 正答・正答例及び評価基準

・誤字、脱字、文法上の誤りは、減点の対象としない。

問題番号		正答または正答例		配点		評価上の留意事項	
問	小問			小問	計		
1	(1)	ア		4	30	・ 選んだ資料の記号と理由に関連性があるものを正答とする。 ・ 調査方法は、関連性がないと 2 点減点。	
	(2)	ア	低い	4			
		イ	多い	4			
	(3)	自然面	(略)	4			
		歴史面	(略)	4			
	(4)	参考資料	アイウのうち、参考にした資料 1 つに○				10
		誰にとって	(略)				
		良い効果の 具体例	(略)				
		調査方法	(略)				
2	(1)	カ		4	30	1 人しか書かれていない場合は不正解とする。 ・ 正答例と同様の内容が書かれているものを正答とする。 ・ 観察の「回数」と「時刻」に触れること。 ・ 「方角をそろえること」に触れること。	
	(2)	ア		4			
	(3)	名前	緑さん、学さん	4			
		理由	(例) 記録用紙に方角が書かれており、東の方から、南、西の方へと位置が変化している月が記録されているから。				6
	(4)	(例) 観察する回数とその時こく		6			
		(例) 記録用紙に、観察する方角をそろえて記録すること		6			
3	(1)	18		5	40	・ 正答例と同様の内容が書かれているものを正答とする。 ・ 「大豆の収穫量」、「畑の面積」の用語が書かれていない場合は、それぞれについて減点する。 次の (i) ～ (ii) の条件を満たしているものを正答とする。 (i)みそ500gをつくるための材料費と容器代の合計金額の247円を求めている。またその求め方について、理由の説明や計算式を書いている。 (ii)販売するみそ500gの値段を247円を超える金額にしている。 ただし、(i) ～ (ii) の条件を満たしていない場合は、内容によって減点する。	
	(2)	3		5			
	(3)	50		5			
	(4)	(例) 大豆の収穫量は 1 m ² あたり0.16kgである。(3) より借りられる畑の面積は50m ² だから、0.16×50＝8 より、借りられる畑の全体を使うと、8 kgの大豆が収穫できる。 4 kgの大豆を収穫するには、 4÷8＝1/2 より、借りられる畑の半分の面積でよい。		10			
	(5)	(例) みそ500gをつくるために必要な材料は、 500÷6000＝1/12 より、資料1にある材料の分量の 1/12 となる。みそ 6 kgをつくるために必要な麴と食塩の金額は、資料2より、それぞれ2400円、84円である。 よって、みそ500gをつくるために必要な麴の金額は、 2400×1/12＝200より200円、食塩の金額は、 84×1/12＝7より7円となる。また、容器は500gにつき1つ使うから、容器代は40円かかる。 以上より、みそ500gをつくるための材料費と容器代の合計は、200+7+40＝247 より 247円が必要になる。 よって、販売金額が、そのみそをつくった材料費と容器代の合計金額を超えるようにするには、例えば1個250円で販売すればよい。 販売するみそ500gの値段 250 円		15			